

過去１０年間の厚生労働省におけるプライバシーの保護に反する行為及び公序良俗に反する行為を示されたい。

過去１０年間の厚生労働省の統計業務におけるプライバシーの保護に反する行為及び公序良俗に反する行為により罰せられた件数は、無いものと承知している。

２次ヒアリングの質問事項について、書面で回答いただきたい。

貴省が実施している統計業務を民間開放することについて、貴省の見解をうかがいたい。

- １ 民間委託の推進を全て否定している訳ではなく、従来から民間委託してきており、今後とも進めていくこととしている。
- ２ 統計業務を民間委託することについては、各工程ごとに、当該調査の全体の事務の流れとして、より効率的であり、信頼性、正確性を確保できるかを判断した上で実施しているところである。
- ３ しかしながら、厚生労働政策との一体性などを考慮すれば、企画・標本設計など民間委託になじまない工程も存在すると考えている。

平成１６年度中に作成が予定されている統計調査業務の民間委託に関するガイドラインについて、貴省のスタンスをご説明願いたい。

厚生労働省では、統計調査業務の民間委託に関するガイドラインを踏まえて、更なる民間委託の推進を図っていくこととしている。

今年度貴省が実施する統計調査事業のうち代表的なもの（指定統計、承認統計の双方を含む。）を選定の上、下記の業務プロセスごとの予算配分額、所要人員、所要期間について明らかにしていただきたい。

調査企画、 標本設計、 標本抽出、 実地調査、 内容検査、 符号付け、
データ入力、 チェック等、 統計表作成、 結果審査、 調査票の保管

10月26日提出資料の2ページ目のとおりである。

現在貴省が実施している統計調査について、個別の統計調査ごとの回答率について資料をいただきたい。

大臣官房統計情報部が実施している統計調査について、個別の統計調査ごとの回収率は、別紙のとおりである。

平成17年度に貴省で新規に実施予定の統計調査があれば、御説明願いたい。

10月26日提出資料の3ページ目のとおりである。

貴省が実施している統計調査について、業務プロセス（調査企画、標本設計、実地調査、データ入力、統計表作成等）ごとの民間委託状況を説明願いたい。

10月26日提出資料の4ページ目のとおりである。

貴省が実施している統計調査について、直近5年間の民間委託額の推移を示して頂きたい。

10月26日提出資料の5ページ目のとおりである。

個別統計調査(大臣官房統計情報部分)の回収率

統計調査名		回収率
産業連関表作成基礎調査		55.3%
人口動態調査		100.0%
21世紀出生児縦断調査		91.3%
患者調査		92.7%
受療行動調査		76.7%
医療施設調査		100.0%
病院報告		100.0%
衛生行政報告例		100.0%
地域保健・老人保健事業報告		100.0%
医師・歯科医師・薬剤師調査		100.0%
社会福祉施設等調査		100.0%
福祉行政報告例		100.0%
社会医療診療行為別調査		100.0%
地域児童福祉事業等調査		91.3%
介護サービス施設・事業所調査		87.1%
介護給付費実態調査		100.0%
国民生活基礎調査		81.6%
保健福祉動向調査		88.7%
21世紀成年者縦断調査		82.8%
毎月勤労統計調査(全国調査)		87.8%
労働経済動向調査		55.1%
雇用動向調査		79.2%
雇用構造調査		71.6%
賃金構造基本統計調査		72.3%
屋外労働者職種別賃金調査		59.6%
林業労働者職種別賃金調査		83.6%
賃金引上げ等の実態に関する調査		59.8%
就労条件総合調査		78.5%
労働争議統計調査		100.0%
労使関係総合調査	労働組合基礎調査	100.0%
	労働組合実態調査	82.4%
労働災害動向調査		86.7%
技術革新と労働に関する実態調査(事業所調査)		78.8%